

特別会計の決算状況

■国民健康保険事業

加入者の保険税と国や道、市の税金を税源として病気のと きなどに医療費を負担し合う制度です。令和元年度決算では、8,057万円を次年度へ繰り越しました。

■介護保険事業

加入者の保険料と国や道、市の税金を財源として介護サービ スを給付しています。令和元年度決算では、1億2,189万円を 次年度へ繰り越しました。

■後期高齢者医療

75歳以上の方と、65～74歳で一定の障がいのある方の医 療を国民みんなで支え合う健康保険制度であり、道内市町村が

加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となってい ます。令和元年度決算では、6,989万円を次年度へ繰り越しま した。

令和元年度特別会計決算状況

(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	1,627,461	1,619,404	8,057
介護保険事業	1,390,475	1,378,286	12,189
後期高齢者医療	218,073	211,084	6,989
合計	3,236,009	3,208,774	27,235

企業会計の決算状況

■水道事業

市民の生活用水を供給しています。新設事業として真砂町な どに配水管布設や、中央第1地区（西小学校）に緊急貯水槽を 設置しました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替 えや、幌内ポンプ場の受変電設備や非常用設備の更新工事など を行いました。収益的収支は2億9,961万円の黒字で、消費税 と地方消費税を整理した純利益は1億8,978万円でした。

■下水道事業

快適で衛生的な生活環境を保つため、東開町の污水管整備、 宮前町、明徳町などの雨水管整備を行いました。ポンプ場にお いては、糸井中継ポンプ場の受変電設備更新などを行いました。 また、西町下水処理センターにおいては糸井系污水ポンプ長寿 命化対策などを行いました。

収益的収支は6億4,696万円の黒字で、消費税と地方消費税 を整理した純利益は5億5,901万円でした。

■市立病院事業

急性期医療に対応した高度な先端医療を提供しています。ス ムーズな診療体制を推進し、質の高い医療の提供に努めてきま した。収益的収支は3億8,808万円の赤字で、消費税と地方消 費税を整理した純損失は3億9,295万円でした。

■公設地方卸売市場事業

市民に安全・安心な生鮮食料品などの安定供給を図るため卸 売市場を開設しています。水産物部で衛生管理機能強化のため 生食用区画ビニールカーテン、冷房設備を設置したほか、老朽 化した屋根の葺替えをしました。また、市場および市場施設使 用料の改定を行いました。

収益的収支は1,893万円の赤字で、消費税と地方消費税を整 理した純損失は2,027万円でした。

令和元年度企業会計決算状況

(単位：万円)

会計名	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的	320,397	290,436	29,961
	資本的	97,434	245,197	▲147,763
下水道事業	収益的	533,360	468,664	64,696
	資本的	197,930	368,380	▲170,450
市立病院事業	収益的	1,050,375	1,089,183	▲38,808
	資本的	115,701	179,068	▲63,367
公設地方卸売市場事業	収益的	13,065	14,958	▲1,893
	資本的	1,364	4,539	▲3,175
合計	収益的	1,917,197	1,863,241	53,956
	資本的	412,429	797,184	▲384,755

財政健全化比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化に関する指標の公表を行っています。

令和元年度決算の指標は以下の通りです。

財政健全化比率		苫小牧市指標	早期健全化基準
1 実質赤字比率	標準財政規模に対する、一般会計等の実質赤字額の比率	—	11.47%
2 連結実質赤字比率	標準財政規模に対する、全ての会計の赤字や黒字を合算した「赤字」の比率	—	16.47%
3 実質公債費比率	公債費（地方債の元金・利子の支払いに要する経費）、公債費に準じた経費の比重を示す比率	6.7%	25.0%
4 将来負担比率	地方債残高ほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	64.1%	350.0%

資金不足比率	苫小牧市指標	経営健全化基準
公営企業ごとの営業収益に対する資金不足の比率		
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
市立病院事業会計	14.2%	
公設地方卸売市場事業会計	—	